

堂谷津の里 自然だより

2018年 5月

2018. 5. 1

カエルの声と子供達の声が谷津に響き渡る恒例の田植えが始まりました。泥んこ田にそっと足を入れ、ちょっぴり不安な子も「上手だね。」とほめられ鼻高々、泥んこの笑顔が素敵でした。林縁は柔らかな葉っぱをもりもり食べる幼虫が多く見られ、木々の白い花がさわやかさを一段と増して心地よい5月です。



田植えを終えた田んぼで カルガモ



キンラン



ササバギンラン



ミヤマナルコ



ナルコユリ



ホウチャクソウ



ワニグチソウ

木の花



サワフタギ



ウスタビガ



オオムラサキ

<季節メモ>

北総に見る「クサナギオゴケ」

クサナギは、「草薙の剣」ゆかりの熱田神宮のある愛知県で発見されたことにちなんで、オゴケは諸説あるとのこと。かつては北総でよく見られたというが、開発が進む現在は保護生物(千葉県)となる貴重な植物である。

小さな星形の花に会いたくてこの時期(5、6月)、里山を訪ねる野草好きは多い。



写真・編集：晝間



イボタノキ



ウツギ



ガマズミ



エゴノキ